

2018年10月30日

『進撃の巨人』ハリウッド版実写映画化決定！

『別冊少年マガジン』（講談社）で連載中の『進撃の巨人』（著：諫山創）の、ハリウッド版実写映画化が決定しました。

監督は『MAMA』『IT/イット “それ”が見えたら、終わり。』の Andy Muschietti（アンディ・ムスキエティ）、プロデューサーは『ハリー・ポッター』シリーズや『ゼロ・グラビティ』の David Heyman（デイビッド・ヘイマン）、『HEROES/ヒーローズ』の出演でも知られる Masi Oka（マシ・オカ）、監督の姉で共に作品を手掛けてきた Barbara Muschietti（バルバラ・ムスキエティ）の3名、製作・配給は Warner Bros.（ワーナー・ブラザーズ）、制作は『ハリー・ポッター』シリーズや『ゼロ・グラビティ』の Heyday Films（ヘイデイ・フィルムズ）となることが決定しています。

◆『進撃の巨人』について

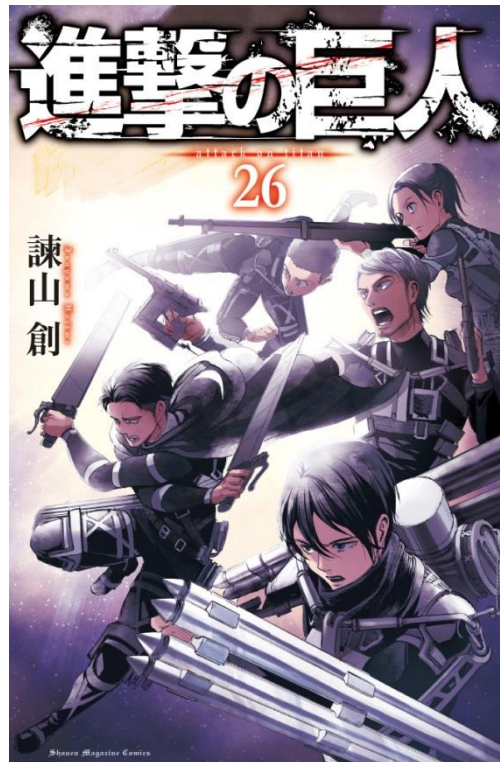
巨人がすべてを支配する世界において、まだ見ぬ外の世界に憧れる少年・エレンらと巨人との戦いを描いたダークファンタジー漫画。2009年より別冊少年マガジン（講談社）で連載を開始。2013年にはTVアニメ化され、2018年7月からアニメ Season3 が放送された。

2018年10月現在、26巻まで発売され国内累計発行部数は7600万部を超える。12月7日には27巻が発売予定。

著：諫山 創（いさやま はじめ）

掲載誌：別冊少年マガジン（講談社）

公式 HP：<http://shingeki.net/>



↓次ページに監督・プロデューサーのプロフィールを紹介しています。

講談社

監督

◆Andy Muschietti (アンディ・ムスキエティ)

アルゼンチン生まれ。ブエノスアイレスの製作会社カトロ・カベサスでCM監督としてキャリアをスタートさせた後、ヨーロッパに拠点を移し、クリエイティブパートナーの姉バルバラと共にスペインでCMや映画の製作会社トーマ78を設立。カンヌ・ライオンズの金賞など、世界最大級の広告賞を多数受賞。ギレルモ・デル・トロが製作総指揮を務めたホラー「MAMA」で長編映画監督デビュー。2017年に公開された監督作品「IT/イット “それ”が見えたら、終わり。」は世界興収770億円を超え、ホラー映画史上最もヒットした作品となった。

プロデューサー

◆David Heyman (デイビッド・ヘイマン)

独立系制作会社Heyday Films (ヘイデイ・フィルムズ)を運営し、数々の映画のプロデューサーに携わる。1997年の会社設立以来、J.K.ローリング原作の「ハリー・ポッター」シリーズの全8作品、アルフォンソ・キュアロン監督によるアカデミー賞受賞作「ゼロ・グラビティ」などの制作を手がけてきた。その他には「アイ・アム・レジェンド」「イエスマン “YES” は人生のパスワード」「縞模様のパジャマの少年」「戦場からのラブレター」「光をくれた人」「パディントン」「パディントン2」、「ハリー・ポッター」のスピノフ作品「ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅」などの制作実績を有する。

◆Masi Oka (マシ・オカ)

1974年東京都渋谷区生まれ。6歳で渡米し、ブラウン大学卒業後、ジョージ・ルーカス率いるILM社にデジタル視覚効果アーティストとして従事しながら俳優として活動。人気ドラマ『HEROES/ヒーローズ』に出演し、エミー賞やゴールデングローブ賞など各賞にもノミネートされ、その後も多くのテレビドラマや映画に出演。ハリウッド版『デスノート』プロデューサーなど、日本コンテンツの海外展開も積極的に行っている。また海外進出を行う日本企業にアドバイザーとして従事する他、スタートアップ企業へのエンジェル投資、ゲーム会社の設立など実業家としても活動の幅を広げている。

◆Barbara Muschietti (バルバラ・ムスキエティ)

アルゼンチンで育ち、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で学ぶ。弟のアンディ・ムスキエティと共にスペインで製作会社トーマ78を設立以来、映画・TV・CMで20年以上仕事を共にする。映画『MAMA』ではプロデューサーを務め、監督アンディ・ムスキエティとニール・クロスと共に脚本も担当。『IT/イット “それ”が見えたら、終わり。』ではプロデューサーを務めた。